

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2019年11月13日

【四半期会計期間】 第60期第2四半期
(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 ダイハツディーゼル株式会社

【英訳名】 DAIHATSU DIESEL MFG.CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 木下 茂樹

【本店の所在の場所】 大阪市北区大淀中一丁目1番30号

【電話番号】 06-6454-2332

【事務連絡者氏名】 取締役副社長 合田 修

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区大淀中一丁目1番30号

【電話番号】 06-6454-2331

【事務連絡者氏名】 取締役常務執行役員 水科 隆志

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第59期 第2四半期 連結累計期間	第60期 第2四半期 連結累計期間	第59期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	26,729,848	27,321,481	57,270,530
経常利益 (千円)	752,553	852,117	2,576,633
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	483,428	511,657	1,818,316
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	452,406	395,797	1,648,422
純資産額 (千円)	38,067,011	39,162,548	39,263,027
総資産額 (千円)	79,578,384	83,422,685	82,512,809
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	15.18	16.10	57.11
自己資本比率 (%)	47.8	46.9	47.5
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	4,715,941	2,077,450	4,792,643
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,693,343	624,228	5,178,108
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,180,480	712,449	109,989
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	23,651,590	22,259,681	20,143,858

回次	第59期 第2四半期 連結会計期間	第60期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	9.78	17.26

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）における我が国経済は、企業業績や雇用環境の改善が続き、設備投資の増加等を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方で、米中貿易摩擦の長期化に伴う中国経済の減速や中東情勢の悪化による原油価格の高騰等、景気悪化の懸念材料も多く、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような企業環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は27,321百万円（前年同四半期比2.2%増）となり、利益面におきましては、営業利益は646百万円（前年同四半期比3.3%増）、経常利益は852百万円（前年同四半期比13.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は511百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

区分		売上高			セグメント利益又は損失		
		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同四半期 増減率(%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同四半期 増減率(%)
内燃機関 部門	船用機関 関連	22,386	23,209	3.7	1,825	1,877	2.9
	陸用機関 関連	2,742	2,603	5.1	99	187	
その他の部門		1,600	1,508	5.8	117	106	9.0
調整額					1,217	1,150	
計		26,729	27,321	2.2	625	646	3.3

(注) セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

<内燃機関部門>

イ) 船用機関関連

国内向けを中心に機関販売台数が増加したことに加え、メンテナンス関連の売上が増加したこと等により、売上高は23,209百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は1,877百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

ロ) 陸用機関関連

機関売上が減少したことに加え、採算性が悪化したこと等により、売上高は2,603百万円（前年同四半期比5.1%減）、セグメント損失は187百万円（前年同四半期は99百万円のセグメント損失）となりました。

従いまして、当部門の売上高は25,813百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益は1,690百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

<その他の部門>

イ) 産業機器関連

アルミホイール部門に関しましては、軽自動車業界において新車の生産販売が引き続き堅調であることから売上高、セグメント利益とも増加となりました。

ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連に関しましては、売上高、セグメント利益とも微減となりました。

ハ) 売電関連

売電関連に関しましては、売上高は減少となり、セグメント利益は増加となりました。

ニ) 精密部品関連

精密部品関連に関しましては、売上高は減少となり、セグメント損失は拡大となりました。

従いまして、当部門の売上高は1,508百万円（前年同四半期比5.8%減）、セグメント利益は106百万円（前年同四半期比9.0%減）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における財政状態の概要につきましては、資産の部は、83,422百万円となり、前連結会計年度末に比べ、909百万円の増加となりました。負債の部は44,260百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,010百万円の増加となりました。純資産の部は39,162百万円となり、前連結会計年度末に比べ、100百万円の減少となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産の部では、現金及び預金が前連結会計年度末に比べ、2,016百万円増加となりました。また、たな卸資産につきましても、2,458百万円増加となりました。一方で、前連結会計年度末の売上債権の回収が進み、受取手形及び売掛金が2,867百万円減少となりました。その結果、資産の部合計については、前連結会計年度末に比べ、909百万円増加し、83,422百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計が前連結会計年度末に比べ、114百万円減少となりました。一方で、短期借入金と長期借入金の合計は、運転資金を新たに調達したこと等により、1,581百万円増加となりました。その結果、負債の部合計では、前連結会計年度末に比べ、1,010百万円増加し、44,260百万円となりました。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益を511百万円計上しましたが、配当金の支払等により、前連結会計年度末に比べ100百万円減少し、39,162百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の増減は、営業活動によるキャッシュ・フローは2,077百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローは624百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローは712百万円の増加となりました。結果として、資金は2,115百万円の増加（前第2四半期連結累計期間は3,231百万円の増加）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、船用機関連を中心とした売上の計上により、税金等調整前四半期純利益856百万円を確保し、減価償却費の計上（1,385百万円の増加）、売上債権の減少（2,787百万円の増加）がありましたが、たな卸資産の増加（2,460百万円の減少）、法人税等の支払（458百万円の減少）等により、営業活動によるキャッシュ・フローは2,077百万円の増加（前第2四半期連結累計期間は4,715百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う有形固定資産の取得による支出が665百万円ありましたが、これにより投資活動によるキャッシュ・フローは624百万円の減少（前第2四半期連結累計期間は2,693百万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済による支出が2,575百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出が307百万円、配当金の支払いによる支出が477百万円ありましたが、運転資金を目的とした長期借入れによる収入が4,150百万円あったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは712百万円の増加（前第2四半期連結累計期間は1,180百万円の増加）となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、1,331百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	31,850,000	31,850,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は 100株であります。
計	31,850,000	31,850,000		

(注) 1966年5月2日会社設立資本金10億円のうち現物出資額548,900千円があります。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		31,850,000		2,434,300		2,150,863

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
ダイハツ工業株式会社	大阪府池田市ダイハツ町1番1号	11,181	35.15
ビービーエイチ フィデリティ ピューリタン フィデリティ シリーズ イントリンシック オポチュニティズ ファンド (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210 U.S.A. (東京都千代田区丸の内2丁目7番1号)	3,184	10.01
積水ハウス株式会社	大阪市北区大淀中1丁目1番88号	2,000	6.29
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	787	2.48
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	740	2.33
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	100 KING STREET WEST, SUITE 3500, PO BOX 23 TORONTO, ONTARIO M5X 1A9 CANADA (東京都港区港南2丁目15番1号)	729	2.29
ジェービー モルガン バンク ルクセンブルグ エスエイ380578 (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	EUROPEAN BANK AND BUSINESS CENTER 6, ROUTE DE TREVES, L-2633 SENNINGERBERG, LUXEMBOURG (東京都港区港南2丁目15番1号)	725	2.28
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	590	1.85
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB) (常任代理人 野村證券株式会社)	1 ANGEL LANE, LONDON, EC4R 3AB, UNITED KINGDOM (東京都中央区日本橋1丁目9番1号)	502	1.58
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	498	1.57
計		20,938	65.83

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 43,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,804,100	318,041	
単元未満株式	普通株式 2,400		
発行済株式総数	31,850,000		
総株主の議決権		318,041	

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権20個)含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ダイハツディーゼル株式会社	大阪市北区大淀中一丁目 1番30号	43,500		43,500	0.14
計		43,500		43,500	0.14

(注) 1 2019年4月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式120,000株を取得いたしました。
2 2019年7月26日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分により、92,700株減少しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,905,314	22,921,753
受取手形及び売掛金	2 17,098,955	14,231,388
たな卸資産	1 10,269,885	1 12,728,470
その他	1,931,333	2,204,257
貸倒引当金	12,467	11,474
流動資産合計	50,193,021	52,074,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,883,129	10,562,032
機械装置及び運搬具(純額)	6,899,691	6,549,443
土地	5,088,192	5,088,095
建設仮勘定	113,701	221,156
その他(純額)	836,953	746,837
有形固定資産合計	23,821,668	23,167,566
無形固定資産		
投資その他の資産	1,442,929	1,333,896
投資有価証券	2,836,741	2,700,258
長期貸付金	1,225	1,058
繰延税金資産	3,589,106	3,588,813
その他	681,863	610,442
貸倒引当金	53,745	53,745
投資その他の資産合計	7,055,190	6,846,827
固定資産合計	32,319,788	31,348,289
資産合計	82,512,809	83,422,685
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2 7,297,643	7,318,815
電子記録債務	2 5,328,246	5,192,641
短期借入金	6,193,416	4,427,668
リース債務	562,963	552,204
未払法人税等	414,039	331,947
賞与引当金	703,678	698,809
役員賞与引当金	45,000	25,500
未払費用	2,851,383	2,599,473
その他	2 1,900,139	1,932,460
流動負債合計	25,296,509	23,079,521

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
固定負債		
長期借入金	7,217,600	10,564,840
リース債務	1,077,869	963,875
役員退職慰労引当金	521,573	73,563
退職給付に係る負債	6,618,821	6,758,171
資産除去債務	206,468	191,500
その他	2,310,939	2,628,663
固定負債合計	17,953,272	21,180,615
負債合計	43,249,782	44,260,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,434,300	2,434,300
資本剰余金	2,191,263	2,191,263
利益剰余金	35,060,415	35,093,361
自己株式	10,495	28,059
株主資本合計	39,675,483	39,690,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,255	192,333
為替換算調整勘定	7,341	145,297
退職給付に係る調整累計額	643,346	615,823
その他の包括利益累計額合計	455,749	568,788
非支配株主持分	43,293	40,472
純資産合計	39,263,027	39,162,548
負債純資産合計	82,512,809	83,422,685

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	26,729,848	27,321,481
売上原価	20,589,615	21,830,630
売上総利益	6,140,232	5,490,851
販売費及び一般管理費		
販売費	4,297,005	3,693,679
一般管理費	1,217,426	1,150,823
販売費及び一般管理費合計	1 5,514,431	1 4,844,502
営業利益	625,800	646,348
営業外収益		
受取利息	4,317	5,297
受取配当金	38,834	38,385
持分法による投資利益	-	7,324
為替差益	74,411	-
業務受託料	53,098	23,297
受取保険金	-	222,208
貸倒引当金戻入額	1,787	1,183
雑収入	25,652	24,691
営業外収益合計	198,102	322,386
営業外費用		
支払利息	49,047	51,292
為替差損	-	14,455
災害による損失	16,224	35,182
雑損失	6,077	15,688
営業外費用合計	71,349	116,618
経常利益	752,553	852,117
特別利益		
固定資産売却益	39	17
補助金収入	-	15,667
特別利益合計	39	15,685
特別損失		
固定資産売却損	-	2,389
固定資産廃棄損	6,916	9,290
ゴルフ会員権評価損	4,250	-
特別損失合計	11,166	11,679
税金等調整前四半期純利益	741,427	856,122
法人税、住民税及び事業税	388,836	364,641
法人税等調整額	128,232	17,355
法人税等合計	260,603	347,285
四半期純利益	480,823	508,836
非支配株主に帰属する四半期純損失()	2,605	2,820
親会社株主に帰属する四半期純利益	483,428	511,657

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	480,823	508,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,828	12,077
為替換算調整勘定	8,377	34,414
退職給付に係る調整額	44,622	27,522
持分法適用会社に対する持分相当額	-	118,225
その他の包括利益合計	28,416	113,039
四半期包括利益	452,406	395,797
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455,011	398,618
非支配株主に係る四半期包括利益	2,605	2,820

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	741,427	856,122
減価償却費	1,270,214	1,385,296
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,787	992
賞与引当金の増減額(は減少)	10,147	4,386
役員賞与引当金の増減額(は減少)	23,350	19,500
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	168,616	98,866
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	17,060	448,009
受取利息及び受取配当金	43,152	43,682
支払利息	49,047	51,292
ゴルフ会員権評価損	4,250	-
有形固定資産売却損益(は益)	39	2,372
固定資産廃棄損	6,916	9,290
売上債権の増減額(は増加)	4,175,504	2,787,782
たな卸資産の増減額(は増加)	124,622	2,460,974
仕入債務の増減額(は減少)	1,654,556	16,772
その他	981,600	346,671
小計	5,489,288	2,543,376
利息及び配当金の受取額	43,152	43,682
利息の支払額	48,572	51,459
法人税等の支払額	767,926	458,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,715,941	2,077,450
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,151,151	665,657
有形固定資産の売却による収入	161	2,633
無形固定資産の取得による支出	3,014	6,180
貸付金の回収による収入	188	166
定期預金の払戻による収入	913,128	397,383
定期預金の預入による支出	452,657	352,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,693,343	624,228

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,500,000	4,150,000
長期借入金の返済による支出	558,008	2,420,808
自己株式の取得による支出	-	77,077
配当金の支払額	477,325	477,651
短期借入金の純増減額（は減少）	-	155,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	284,185	307,013
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,180,480	712,449
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,950	49,847
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	3,231,028	2,115,823
現金及び現金同等物の期首残高	20,420,562	20,143,858
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 23,651,590	1 22,259,681

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
製品	37,857千円	61,982千円
原材料	158,972千円	154,324千円
仕掛品	10,073,056千円	12,512,163千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
受取手形	181,467千円	- 千円
支払手形	6,052千円	- 千円
電子記録債務	184,145千円	- 千円
その他(流動負債)	93,521千円	- 千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費の主な内訳

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
給料・賃金・賞与	1,602,308千円	1,511,309千円
賞与引当金繰入額	321,296千円	302,939千円
役員賞与引当金繰入額	28,000千円	25,500千円
退職給付費用	142,589千円	114,982千円
役員退職慰労引当金繰入額	53,106千円	21,751千円
貸倒引当金繰入額	- 千円	191千円
減価償却費	151,609千円	137,438千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金	24,422,127千円	22,921,753千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	770,536千円	662,071千円
現金及び現金同等物	23,651,590千円	22,259,681千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	477,506	15	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	477,506	15	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	22,386,857	2,742,350	25,129,207	1,600,640	26,729,848		26,729,848
セグメント間の 内部売上高又は 振替高							
計	22,386,857	2,742,350	25,129,207	1,600,640	26,729,848		26,729,848
セグメント利益又は 損失()	1,825,564	99,936	1,725,628	117,599	1,843,227	1,217,426	625,800

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。
 セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	23,209,374	2,603,831	25,813,206	1,508,275	27,321,481		27,321,481
セグメント間の 内部売上高又は 振替高							
計	23,209,374	2,603,831	25,813,206	1,508,275	27,321,481		27,321,481
セグメント利益又は 損失()	1,877,978	187,798	1,690,179	106,992	1,797,172	1,150,823	646,348

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。
 セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	15円18銭	16円10銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	483,428	511,657
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	483,428	511,657
普通株式の期中平均株式数(株)	31,833,765	31,773,634

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

ダイハツディーゼル株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	市	之	瀬	申	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	三	戸	康	嗣	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているダイハツディーゼル株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ダイハツディーゼル株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。